

臨時号

紫野だより

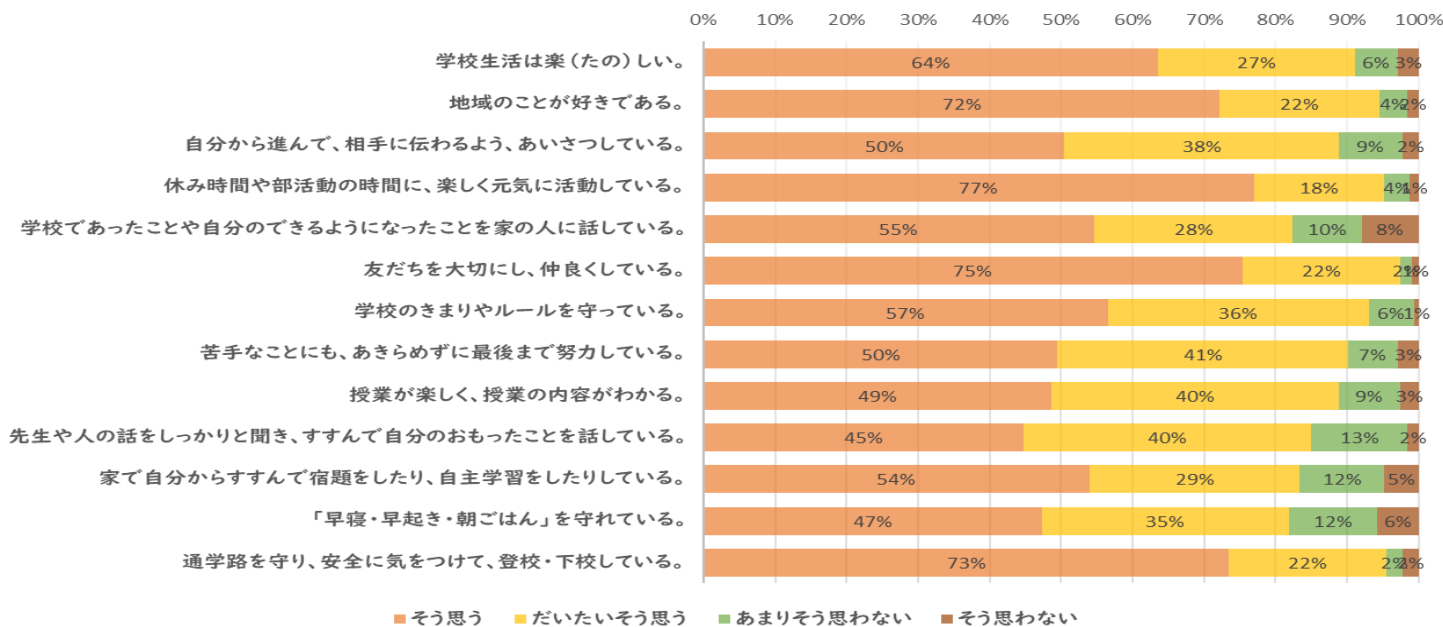
学校教育目標 夢に向かって自ら未来を切り拓く子どもの育成

令和6年10月4日
京都市立紫野小学校
校長 吉岡 正重

令和6年度 第1回 児童・保護者・地域アンケート集計結果のご報告

多くの皆様方にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果についてご報告させていただきます。

【児童】



【保護者】



<結果と考察>

★【児童】「そう思う、大体そう思う」を合わせて数値の高い項目

- ・ 97% 「友だちを大切にし、仲良くしている」
- ・ 95% 「休み時間や部活動の時間に、楽しく元気に活動している」
「通学路を守り、安全に気をつけて登校・下校している」
- ・ 94% 「地域のことが好きである」
- ・ 93% 「学校のきまりやルールを守っている」

★【保護者】保護者の皆様から見た子どもたちの姿として、「そう思う、大体そう思う」を合わせて数値の高い項目

- ・ 98% 「紫野小学校の地域のことが好きである」「友だちを大切にし、仲良くしている」
- ・ 96% 「学校のきまりを守っている」

★【保護者】ご家庭における、「そう思う、大体そう思う」を合わせて数値の高い項目

- ・ 98% 「お子さんの良いところや良くなったところを見つけ、ほめている」
「友達を大切にして、仲良くするように声かけをしたり、話を聞いたりしている」
- ・ 95% 「家庭でのルールやきまりを守らせるようにしている」
- ・ 93% 「苦手なことを最後まであきらめずにやりきるように励ましている」「元気に遊ぶように話している」
「お子さんに相手の顔を見て話をしたり、聞いたりするように声かけしている」

子どもたちが友だちを大切にしながら、仲良く、楽しく、元気一杯活動している様子や学校のきまりやルール、通学路を守りながら安全に過ごしている様子が伺えます。

これらの傾向は、各家庭で大切にされている事柄と相似しています。日頃より、友達の大切さや相手の顔を見ながらのコミュニケーションの大切さを伝えておられる様子が伺えます。さらに、子どもたちがより良く成長していくようにと、褒めたり励ましたりしておられる様子も感じ取れます。

子どもたちの姿は、家庭、学校の取組の調和だといえます。紫野小学校でも、日頃より、「人権についての学習」を大切にしています。互いのよさや頑張りを認め合い、互いに尊敬の拍手を送り合えるように、そして、人の「いのち、心、生き方」を徹底的に大切にできるように、今後とも働きかけてまいります。

また、子どもたちが、「学校や地域のことが好き」と感じていることは、とても嬉しいことです。「子どもたちの笑顔が見たい」と尽力いただいている地域諸団体の方々等の願いや取組が、子どもたちへと確かに渡されていることの証でもあります。学校においても、「地域（人・もの・こと）」の素晴らしさを実感できる学習をさらに重ねていきたいと考えます。次代を担う子どもたちに、地域コミュニティの大切さを伝えていきたいと思ひます。

★【児童】と【保護者から見た児童の姿】を比べてみると…

- ・ ほとんどの項目で児童の評価の方が10%ほど高いが、児童の評価の方が低い項目もある。
「自分のできるようになったことや良いところを話している」（児童83%）
「自分のできるようになったことや良いところを話すことができる」（保護者90%）
- ・ 保護者と児童で大きな差があった項目
「家で、自分から進んで宿題をしたり、自主学習をしたりしている」（保護者65%、児童83%）

保護者が感じているよりも子どもたちはがんばっているのか、子どもたちの自己評価が甘いだけなのか分かりませんが、「できる」「努力している」と自分の成長を感じながら生活できているのは良いことです。自信をもって行動していくためには必要な感覚です。しかし、自分の課題に気付き解決していくことも重要です。学校でも「成果」と「課題」をしっかりと伝えて、子どもたちの成長を支えていきたいと思ひます。

「自分のできるようになったことや…」については、子どもたちは「自分のできるようになったことや良いところ」をもっと伝えたいと思っているのかもしれませんが。文末表現が（児童）「話している」、（保護者）「話すことができる」となっているので、保護者の評価には「そんなに話さないけど、話す能力はある」というものも含まれていると考えられます。

「家で、自分から進んで宿題をしたり、自主学習をしたりしている」については、ご家庭で、「子ども自身が『自分からがんばっている』」と思えるような声かけや環境作りをしておられる様子が伺えます。

★【保護者】その他の項目

- ・「教師は、授業のめあてを児童に伝え、わかりやすい板書をするなどの工夫をして、わかりやすい授業をしている(96%)」
- ・「誰にでも、自分から進んで、相手に伝わるようにあいさつをしている(74%)」
- ・「読書をするような環境作りを心がけている(56%)」
- ・「家で、自分から進んで宿題をしたり、自主学習をしたりしている(65%)」



←早寝早起き朝ごはん
全国協議会(文部科学
省と連携している組織)
HP

子どもたちが心身ともに健やかに成長していくためには、「あいさつ」「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣を身に付けることが欠かせません。家庭や地域・見守り隊の方々の声かけ、紫野キッズサポーターによる「声かけ運動」、児童会による「あいさつ運動」、道徳や日々の学校での学び等の取組などを引き続き進めていきたいと考えています。「子どものころに身に付けた望ましい生活習慣」は、その子の人生における「一生の宝」となります。

また、あいさつのみならず、子どもたちが、苦手なことに諦めずに最後まで努力できるような支援や、「楽しくてよくわかる」と実感できるような授業が構築できるよう、引き続き研鑽してまいります。併せて、読書についての環境作りや自ら進んで学習に臨む意欲を引き出せるようにしたいと思います。

保護者や地域の皆様、今後とも紫野学校教育にご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

【保護者の「ご意見やご感想」】(省略したりまとめたりしています。見やすいように色をつけました。色に意味はありません。)

・参観や懇談などの月間行事早目に開示してほしい。

→毎月の「紫野だより」裏面に翌月の行事予定と翌々月のおおまかな予定を載せております。

・年度初めに必要な持ち物一覧がほしい。・学童へ行く児童は集団下校させてほしい。

・テストの範囲は、お知らせ通りの範囲で実施してほしい。・授業中、姿勢をもうちょっと意識させて欲しい。

・先生の対応への不信感。→ご心配なことがありましたら、遠慮なく学校にお知らせください。

・放課後の残り遊びを増やしてほしい。・京都の公教育はすばらしい。

・すぐーの配信時間を決めてほしい。丁寧な命令口調に圧迫感を感じる。

・なんでも機械化して親にまで協力を求めるのは違う。せめて、毎年変えないでほしい。

→アプリに関しましては、学校で決めているものではありませんが、ご負担をおかけしてしまい申し訳ございません。保護者のみなさまのご理解とご協力のもと、全家庭が「すぐー」に登録してくださったので業務の効率化が進みました。とても助かっております。

・送られて来た当日、何度しても入れなかった。

→すぐー配信時刻とアンケート開始時刻がずれておりました。申し訳ございませんでした。今後、気を付けます。

・大雨の日、多くの方が東船岡通りに停めて待たれるのに、普通の速度で校門の前まできている車がある。

校門前まで車で迎えにくるのは危ないのでやめてほしいです。

→校門前の道路は、許可を得た車以外は7:30~8:30、13~15時は進入禁止になっています。ご注意ください。

・先生も挨拶をしっかりするべき。先生としての自覚はあるのか？挨拶は人としての常識。

・学級通信やホームページで毎日の様子が伝わってきて、子どもとワイワイ話すきっかけにもなる。

・いつもありがとうございます。(多数)・学校を楽しんでいる。(多数)・土日学校へ行きたいと言っている。

・子どもたちの思いを取り入れながら、学校生活が楽しめるように考えてくださってる様に感じている。

・学校生活の中で戸惑うことや苦手なことも多々あるが、本人なりにやる気をもって取り組んではいれると思う。

・先生がマスクを外して顔を見せてくれて良かった。子どもも大変喜んでいる。トラブルを子ども達が学びに変えて考えられたら嬉しい。先生方も保護者を気にせず、子どもと全力で関わってもらえたらと思う。

・クラス作りも大切にされていて先生の思いや指導内容が、我が子を通して伝わってくるので安心している。子どもたちの姿に合わせた活動内容や進め方をしてくださるので子どもが主体となりイキイキしている。今後も我が子のクラスだけでなく、学校全体が、子どもを真ん中に学校と家庭が連携を取りながら見守り育てていけるような環境であってほしい。

貴重なご意見・ご感想をいただき、ありがとうございました。ご提案いただいた内容を真剣に受け止め、今後の教育活動に生かせるよう努力していきます。